

BCAO新型インフルエンザ研究会 訓練・シミュレーション研究チーム11月定例会
議事録（案）

1. 日時 : 11月5日（水） 16時00分～18時00分
2. 場所 : 東京都千代田区神田駿河台1-2-5 BMS駿河台ビル2階
3. 出席者 : (敬称略、順不動)

HISコンサルティング	久富（司会）
エヌ・ケイ・リスクコンサルティング	中
グラクソ・スミスクライン	高橋
シー・エム・エス	矢作
レスキューナウ	市川、三澤
レックスマネジメント	秋月
東京都総務局総合防災部	齋藤（オブザーバー）
鈴与	渡邊（書記）

4. 打合せテーマ

- ① 訓練項目の棚卸し
- ② 棚卸した訓練項目を具体的に検討するためのタスクGの決定と検討項目の分担
- ③ 作業スケジュールの決定

5. 打合せ内容及び意見交換

(1) 司会からの連絡事項

① 新型インフル研究会の他グループの進捗等について

共通対策研究チームはシナリオを想定するため定例会議で今後グループ議論を進めたいとのこと。BCP策定ステップ研究チームも具体的な討議には入っていないとのこと。次回は3グループ合同会合で以下の予定で検討中。

○日時 : 12月2日13:30～

○内容 : 第一部は各グループの成果発表又は現状報告。

第二部は講演。

- ・東京都水道局から新型インフル対応マニュアルについて
- ・ファシリティーマネジメント協会からビル管理における新型インフル対策
- ・北里大学医学部の和田先生から公衆衛生とBCP

その後都庁食堂にて懇親会の予定。

② 真如苑主催の新型インフルエンザセミナーについて

都合がつく方は是非参加して下さい。

(2) 打合せ内容

(訓練の前提、被害想定に関する意見)

- ・ 状況が想定できていないから検討できないので、想定を仮置きしてとにかくやってみたら見えてくるのでは。那須町と八千代市のケーススタディは大変参考になる。
- ・ 人によって最悪の時期のイメージがかなり違う。現実的な共通認識を持つ必要がある。
- ・ 他チームも具体的な想定がイメージできないといった議論になっているようだ。
- ・ 想定を具体化しないと項目が出てこない。最悪のフェーズ6だけで考えるよりも事態の推移の中でポイントを捉えていく方が考えやすいのでは。
- ・ 東京商工会議所の中小企業向けガイドラインにある想定も参考になる。(内容紹介)
- ・ この想定を参考に2～3ステップ先までシナリオを作ることを皆さんにお願いしたい。
- ・ 想定、モデル等を設定しないと議論が進まないのでは。たとえばごみの回収をテーマに行政と民間でキャッチボールしたらどうか。
- ・ 社会経済の縮小により業務が減るものはあまり問題にならない。それよりもライフラインや生活様式がどうなるかといった全体イメージが統一されていない。議論してみたらどうか。
- ・ 訓練・シミュレーション部会なので、フェーズを設定し訓練シナリオを作る作業の中で検討したらどうか。
- ・ 今考えても結論がでない。被害想定はメンバーだけで考えるよりもネットでのアンケート等によりシミュレーターで社会に問いかけながらやっていくべきと思う。
- ・ 訓練・シミュレーションチームで被害想定を検討するのは趣旨に合わないのではないか。シミュレーションであれば良いが。
- ・ アウトプットを出したあとで、想定を検討をしたいと考えている。

(重要業務の考え方に関する意見)

- ・ 訓練・シミュレーションチームは優先業務と休止業務をどのように考えていくかも検討するか。これについて共通の認識が無いのが現状だ。
- ・ 優先業務は、製品・サービスが直接国民の命に係わるといった「命」をキーワードにするもの、小康期間に企業として優先的に復旧しなければならないもの、新型インフルエンザ時に需要が増大するものに分けて検討することで、社会全体で共通認識を得られるのではないか。
- ・ 重要業務を選定するためには前提となる社会状況を想定しなければならない。訓練

想定として仮置きしたらどうか。

- ・ 社会機能維持という言葉が広い。社会機能でもがまんでできるものもある。東京都、荒川区のように止める業務を公表してもらえれば企業側でも判断できる。

(今後の進め方に関する意見)

- ・ 今後の作業の進め方として、複数の訓練を同時に検討していくか、特定のものに注力するか。
- ・ 訓練想定と、場の設定、状況付与内容、コントローラーとプレイヤーの設定といったものを事例としてまとめれば参考になると思う。
- ・ 事例として作るものは訓練計画又は訓練実施要領のようなイメージか。
- ・ 社会状況や条件付与を用意して何人かに考えを求めるもの、答えも含めて作ってしまった方が良い。
- ・ いろいろな項目が出来れば良いがキーになるのは災害対策本部の意思決定の部分だと思う。会社の部署・機能で分けると社会からの情報収集や財務、人事といったものが抜けてしまうので注意が必要である。
- ・ 前回会議で得た結論と今日の宿題は、訓練をどのようにするか、どんなシナリオにするかというではなく、どんな訓練があるか事例を並べ、グルーピングすることだったと記憶している。それをアウトプットとして各社の参考になれば良いのではないか。
- ・ アウトプットは座長案に各メンバーから出てきた項目を入れていけば良いが、フェーズごとの対応は会社により違うので、一覧表にはフェーズを入れない方が良く思う。
- ・ 座長案ではアウトプットが①訓練項目、②訓練の目的・狙い、③訓練の実施方法、として、実施方法の中で想定レベルを求めているが、想定レベルを求めると、結論が出ないという議論に戻ってしまうと思う。前提条件には触れない方が良い。
- ・ 書けるものについては具体的な説明を書いて良いと思う。まずは所定のフォーマットを作成、これに記載する形で進めてはどうか。また、深く書けるものについては別紙があってもいい。
- ・ ある訓練について掘り下げをしても業種の違い等により成果を出すのが難しいのではないか。だから、アウトプットのイメージや前提を一定条件にする必要がある。
- ・ 各訓練項目について各社で実施できるような訓練指示書まで作成しないと使えないのでは。それをみながら自社について必要なものをひとつずつづつイメージを持っていた。
- ・ 3月の各チーム合同会議で新型インフル研究会メンバーに対し、訓練・シミュレーションチームから資料を提示する予定としたい。
- ・ 12月にアウトプットのフォーマットを決め作業を割り振るための会合を開き、

- 1・2月で個別の作業を行い、3月の合同発表の前にもう一度まとめることでどうか。
- ・ グループを作るといっても各自の地理的条件や都合があるので個別に作業を進める方が早いのでは。
 - ・ 訓練項目をグルーピングして一人々に割り振り、次回までに座長案の表に項目ごと細かく書き込んでもらい、1・2月に修正、3月にまとめとしてはどうか。
 - ・ できたものを分科会のメーリングリストに送付し、都度意見をもらいなるべく摺り合わせの際のギャップが少なくなるようにした方が良い。

【結論】

座長には次の内容で報告することで承認を得た。

- ・ ひとつ目のゴールは3月とし、それに向けたアウトプットを作成することとする。但し、アウトプットが書面によるものか合同会合での発表とするかは未定。
- ・ 以後の進め方は、具体的作業のためフォーマットのたたき台を作成し、12月の実際の会合またはweb上の会合（メーリングリスト）にて擦り合わせを行い、3月までの作業スケジュールを完成させる。

(3) その他意見交換

- ・ 東京商工会議所から10月末に中小企業向けガイドラインを発表した。作成にあたっては訓練想定シナリオが難しく労力を使った。忌憚のない意見をお願いしたい。
- ・ 関西にBCAO以外の新型インフルエンザ研究会がある。ディスカッションだけでなく自由に情報を流し合っている。大変勉強になる。訓練の関係で皆さんからも情報がもらえれば非常にためになる。

以上